



議員も2年目になり、少しずつ仕事の進め方も分かってきました。今期からは新しい会派となり、仲間も増え、特に女性が増えたことで、今回代表質問で取り上げたハラスメントなどの女性視点の意見や、生活に密着した政策を会派で打ち出せるようになりました。

本会議や決算・予算の委員会で私が発言したことで政策実現した事例も少しずつ増え、手応えを感じています。3年目はより自分の個性を出して、区政に切り込んでいきたいと思います。皆さまの応援をよろしくお願いします！

ところで、私が日本酒をたしなむということは、一部の方はご存じかと思いますが(笑)、ピアノを弾くのもとても好きで、家にいると一日中でもピアノを弾き続けるくらい！  
そこで今回は、**おすすめの日本酒**だけではなく、きもと麻由 **おすすめのピアノ曲** もご紹介できればと思っています。ぜひ皆さんのおすすめも教えてください！



2024年のピアノの発表会では、ブラームスの間奏曲 作品117-2を弾きました！

# げんきのもと 通信 2025 Vol.4



江戸川区議会議員  
きもと麻由

江戸川区議会議員 きもと麻由  
会派名：超党会派えどがわ

## PROFILE プロフィール

札幌生まれ、みずがめ座のB型。北海道大麻高校を卒業後、アメリカの美術大学 Memphis College of Art に留学しグラフィックデザインを学ぶ。化粧品や香水のプロダクトデザイン、カタログや広告制作など、20年近くデザイナーとして活動。聴覚障がい者の母をもち、フリーランスとして長年活動する中で、政治が社会的に弱い立場におかれている人たちを支援する必要性を強く感じ、政治の道を志すことを決意。2023年4月の江戸川区議会議員選挙にて初当選。趣味はピアノ、編み物。好きなものは柴犬と日本酒。



## 江戸川区議会レポート 内容

- ハ ハラスメント (本会議 代表質問)
- 多 多文化共生 (本会議 代表質問)
- 学 学校教育 (本会議 代表質問)
- き きもっちゃんのひとりごと

代表質問の全文は、きもと麻由のウェブサイトに掲載しています！

江戸川区議会のウェブサイトでは私の代表質問の映像をご視聴いただけます！

### おすすめ日本酒

- 寒菊** (千葉) 羽州誉純米大吟醸
- 森嶋** (茨城) 純米大吟醸 生
- 紀土** (和歌山) 純米吟醸 しぼりたて

### おすすめピアノ曲

- アレクサンドル・スクリャービン エチュード 作品42-5
  - モーリス・ラヴェル 組曲『鏡』より「洋上の小舟」
  - ヴィトルト・ルトスワフスキ ピアノソナタ
- ※私は全部弾けません！笑

お問い合わせ きもと麻由事務所  
〒134-0091 江戸川区船堀4丁目15-11  
TEL.03-6240-5850 FAX.03-6808-3121

ウェブサイト エックス フェイスブック インスタグラム 公式LINE



## きもと麻由が第3回定例会で代表質問をしました！



令和6年9月から10月にかけて行われた、江戸川区議会第3回定例会で、私が所属している会派「超党派えどがわ」を代表して、区政の重要な政策課題について問う「代表質問」の場に立たせていただきました。代表質問では、大きく分けて「ハラスメント」「多文化共生」「学校教育」の3つの分野について、区長、教育長に質問を行いました。

### ハ ハラスメント (本会議 代表質問)

私たちは日々、さまざまなストレスを抱えながら生きています。周囲の人たちの心ない言葉に傷つけられたり、自分で気づかないうちに他人を傷つけてしまうこともあります。ハラスメントの知識を深めて、恐れや不安を払拭し、区民が安心してコミュニケーションできる、ハラスメントのない環境を整えていくことが非常に重要です。

Q. ハラスメント根絶に向け積極的に周知啓発を。

A. 引き続き講座の実施や情報誌の発行等、SNSを含む様々な手段で周知啓発に努めたい。

Q. ハラスメント専用の相談体制の整備・拡充を。

A. 各種相談窓口をホームページに掲載し、ハラスメント総合相談窓口の設置を検討する。

Q. 内部からの通報があった場合、審査と通報者の保護はどのように行われるのか。

A. 内部公益通報は、法令・要綱に基づき厳格に処理されており、通報者の保護は公益通報委員会においても特に慎重に対応されている。

### 多 多文化共生 (本会議 代表質問)

私たち日本人は、長い間、身の回りに外国人が少ないコミュニティで生活してきました。区内には約46,000人の在住外国人がいますが、彼らと日常的に接することは、まだまだ少ないのが現状です。共生社会を目指す江戸川区にとって、外国人が暮らしやすい地域社会を作り、私たちも外国人との関わり方を理解し、深めていくことが必要です。

一方で、他の自治体の事例を見ていると、外国人との共生にはさまざまな課題が生じる可能性があることも考えておく必要があります。そういった課題も乗り越えられる、江戸川区が目指す「多文化共生」のあり方について、質問・提言しました。

Q. 「やさしい日本語」の普及に向けた取り組みを。

A. 多言語による情報提供ガイドラインを策定し職員研修を行った。区の取り組みを広報物の表現や窓口対応等を通じ区民に知らせていく。

Q. 外国人が区民と交流を深めるための施策を。

A. 地域ボランティアと連携し交流イベント等で顔の見える関係を築いていきたい。区民主体で活動に取り組めるよう支援していく。

Q. 多文化共生センター<sup>※</sup>の情報発信を、様々なツールを利用し能動的に行うべき。

A. SNSやチラシ、コミュニティ等の様々な媒体を通じて情報発信に取り組んでいく。

※ 2024年10月にタワーホール船堀の3階に、江戸川区多文化共生センターがオープンしました。多言語による生活相談、日本語教室、交流イベントを行っています。

### 学 学校教育 (本会議 代表質問)

学校改築の建設業者の入札不調は、令和5年度に2校で2件、令和6年度に3校で4件と、非常に厳しい状況が続いています。そこで改築遅延による生徒への影響について質問しました。

その他、フィンランドの革新的ないじめ防止プログラム導入も視野に入れた、小学校の道徳教育におけるいじめ撲滅対策、グローバル人材育成のための、英語のスピーキング教育と「創造的・論理的思考力の育成」教育の比重の置き方についても質問・提言しました。

Q. 学校改築の入札不調や遅延による教育への影響について、区はどのように捉えているのか。

A. 教職員の工夫により子ども達への影響は最小限に抑えられると考える。

Q. 道徳教育を含めたいじめ撲滅対策の実施を。

A. いじめの未然防止と発生時の初期対応を強化したい。道徳の授業をはじめとして教育活動の様々な場面でいじめ対策の充実を図る。

Q. グローバル人材育成のための取り組みは。

A. 読書科や外国語指導助手を配置し、子ども達の探求心や英語力の向上に繋げていきたい。